

学校経営方針(平成22年度)

〈めざす学校像〉

子ども・保護者が満足する学校

〈学校教育目標〉

生き生き にこにこ 国津っ子

〈めざす子ども像〉

・進んで取り組む子 (自主性・積極性・実行力) ・仲よくできる子 (思いやり・協力・信頼・人権尊重) ・素直で明るい子 (明朗・誠実・健康)

〈重点目標〉

経 営

◎児童・教職員・保護者、相互のふれあいを深め、明るく、温かく生き生きとした楽しい学校をめざして学校経営、学級経営に努める。その結果、きめ細やかな家庭連絡により、意思疎通が図られていると考える児童・保護者の割合が5%以上、向上するように取り組みを進める。
◎校内の学習環境を充実させるために、清掃活動の充実を図り、校地内の環境についてもよりいっそうの整備を図ることで「学校がきれいである」と感じる児童・保護者の割合が平成21年度末に比して5%以上向上することをめざす。

指 導

◎基礎的・基本的な学力の定着のために、ICT等の機器を利用した授業を工夫するとともに、教材研究を深め、校内での授業研究を活発にする。その結果、平成21年度末には75%であった「わかりやすい授業」を工夫しているというアンケート項目の結果が本年度末には、80%以上になるよう取り組みを進める。
◎子ども一人ひとりの状況を的確につかみ、保護者と連携して、個に応じた指導を充実することで平成21年度末には75%であった「意欲的に学習に取り組む子ども」の割合が80%以上になることをめざす。

〈努力事項〉

【経営】

○基礎的・基本的事項の定着の徹底を図るとともに、一人ひとりの能力や適性等に応じたきめ細やかな教育を進める。
○危機管理・情報管理の徹底により災害・不審者などから生命・身体を守る。
○PDCAサイクルの活用による職務改善の取り組みにより学校経営の質の向上を図る。

【指導】

○基礎的・基本的な事項の反復により、学力の定着を図る。
○体験的な活動を通して、自分で考え判断し、積極的に実行する態度を育てる。
○個々のコミュニケーション力を高めるとともに、役割を自覚し、お互いを認め、最後まで粘り強く責任を果たそうとする集団の育成に努める。
○国際理解教育を深めるとともに、英語活動をいっそう推進する。
○体力の向上と、健康な生活の基礎を培うために、保健・安全(危機管理)・給食指導の充実に努める。

【研修】

○確かな学力の定着・向上をめざして、効果的な方法や手立てを工夫する。
○体験活動を通して、主体的実践力をつけるための支援・指導のあり方を共有する。
○少人数学級の強みを生かした教育実践への取り組みを行う。
○継続したライフ学習研修による実践の積み重ねを行う。